

令和4年度全国学力・学習状況調査の結果について

令和4年10月11日
枚方市立樟葉北小学校

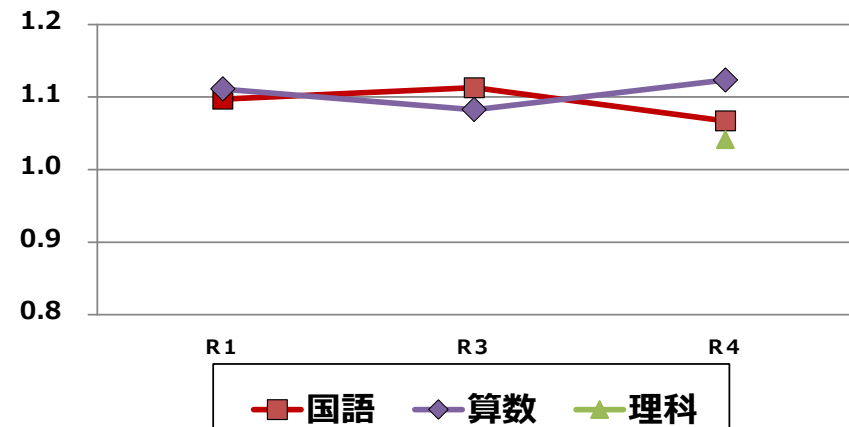
文部科学省が今年4月に実施した、令和4年度全国学力・学習状況調査の結果について、全国を基準とした経年推移等によって、本校の学力や学習の状況を保護者の皆様にお知らせします。結果によると、児童の生活習慣と学力には相関関係があることから、引き続き、保護者の皆様にもご協力をお願いいたします。

【全体概要】

学力調査の結果

学力調査結果の中から、本校と全国の経年比較(対全国比)をお知らせします。

(全国の平均正答率を1とした経年比較)



※令和2年度は中止のため、掲載していません。また、理科は令和元年、令和3年度、未実施の為、掲載していません。

<学力調査結果の概要>

○国語について

→国語は全国平均より4.4ポイント上回った。「読むこと」「言葉の使い方や特徴にかんする事項」に成果が見られました。

○算数について

→算数は全国平均より7.8ポイント上回った。「数と計算」「データの活用」に成果が見られました。

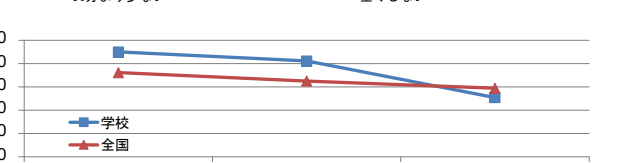
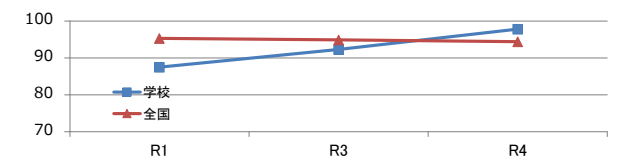
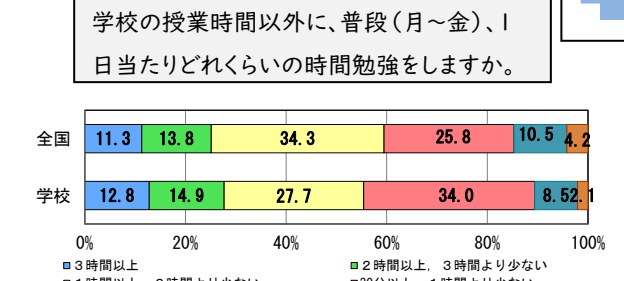
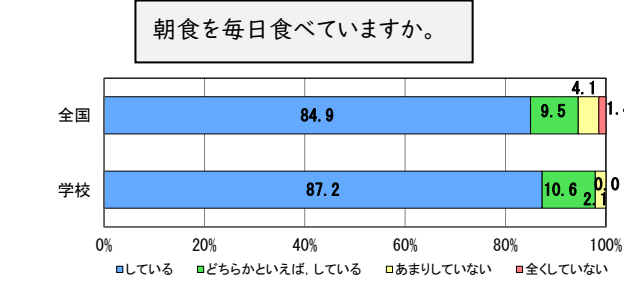
○理科について

→理科は全国平均より2.7ポイント上回った。「粒子を柱とする領域」に成果が見られました。

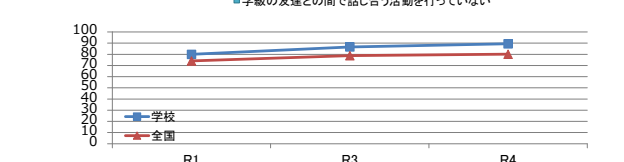
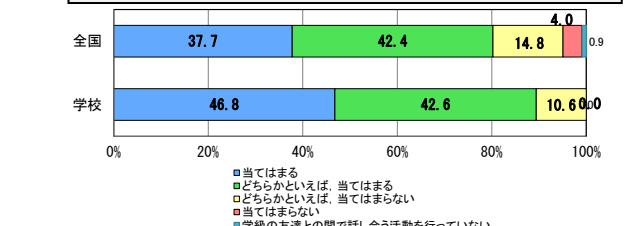
質問紙調査の結果

※帯グラフは、左から「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」「どちらかといえば当てはまらない」「当てはまらない」を示しています。
※折れ線グラフは、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の合計数値となっています。
※無回答があるため、帯グラフの合計数値は100にならない場合があります。

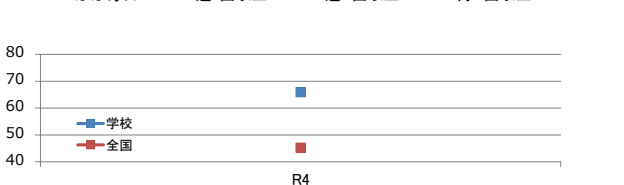
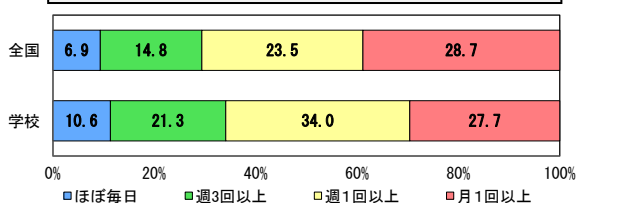
質問紙調査結果の中から、主な項目について、本校と全国の経年比較をお知らせします。



学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか。



学校で、自分の考えをまとめ、発表する場面で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使っていますか



<質問紙調査結果の概要>

- 生活習慣について
→保護者の方の協力により、生活習慣が整っている児童が多くみられます。
- 家庭学習について
→学習時間を確保し、家庭学習の習慣をきっちりと身に付けている児童が多くみられます。
- 授業改善について
→くず北ホームワークや授業を通して「主体的・対話的で深い学び」を意識した話し合いができるようになってきており、自分の考えを深めたり広げたりすることができています。
- ICTの活用について
→ICTを効果的に活用し、自分の考えをまとめ、発表することができています。

まとめ

学習調査、質問紙調査ともに普段の取組の成果がみられます。今後も継続して取り組んでいきますので、保護者の皆様にも引き続きご協力をお願いいたします。

【詳細について】

教科に関する調査

<国語>

成果や課題があった設問

著作権上の問題から、掲載できない文章となっています。
 那須田淳「銀色の幻想」による

【成果】

登場人物の相互の関係について、描写を基に捉える。

	正答率	無解答率
本校	80.9%	0%
全国	70.6%	1.6%

（考察）

物語を読み、登場人物の気持ちや相互関係について複数の描写をもとに捉えることができていました。

今後も文学的な文章においては、全文シート等を活用し、物事の様子や場面、登場人物相互の関係にもとづいた行動や会話、情景など複数の描写に注目し、創造を豊かにしながら物語を読むよう指導していきます。また、詩や物語、伝記などを読み、内容を説明したり、自分の考えを伝え合ったりする活動を充実していきます。

(2)
 森田さんは、――部②と③から、「老人」は未来の「ぼく」であると考え、他にもそのことが分かる箇所を探しています。「老人」が未来の「ぼく」であると考えられるところとして適切なものを、次の1から5までの中から二つ選んで、その番号を書きましょう。

1 【物語の一部】の――部ア
 2 【物語の一部】の――部イ
 3 【物語の一部】の――部ウ
 4 【物語の一部】の――部エ
 5 【物語の一部】の――部オ

【課題】

登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉える。

	正答率	無解答率
本校	59.6%	0%
全国	68.4%	1.0%

（考察）

登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述をもとに捉えることに課題がみられました。

今後は文学的な文章においては、物語において登場人物の行動や会話、様子などを表している複数の叙述をもとに人物像を自分でまとめる活動をしていきます。また、自分の考えた人物像についてグループや学級での交流を通して、人物像を表す表現は物語全体に広がっており、複数の叙述を関連付けると人物像がよりはっきりするということに気づかせる指導をしていきます。

(1)
 森田さんは、ふせんをはったところをもう一度読んでいます。次の(1)と(2)の問いに答えましょう。
 森田さんは、――部①に書かれている「ぼく」の気持ちについて考えています。「ぼく」の気持ちの説明として適切なものを、次の1から5までの中から二つ選んで、その番号を書きましょう。

1 模型の宇宙船が手に入らない悲しさ
 2 本物の宇宙船を手に入れた喜び
 3 本物の宇宙船を作ることへのあこがれ
 4 本物の宇宙船を作ることへの不安
 5 模型の宇宙船を見た感動

<算数>

成果や課題があった設問

【成果】

表の意味を理解し、全体と部分の関係に着目して、ある項目に当たる数を求めることができる。

3

6年生のまなみさんの学級では、みんながもっと仲良くなるために、お楽しみ会をすることにしました。

(1) まなみさんたちは学級で話し合い、お楽しみ会の遊びを、次の4つの中から2つ決めることにしました。

クイズ 宝探し しりとり ビンゴ

そこで、24人の学級全員にアンケート調査をし、希望する遊びを1人に2つずつ選んでもらい、その結果を下の表にまとめています。

希望する遊び (お楽しみ会)					
遊び	ビンゴ	クイズ	宝探し	しりとり	合計
票の数 (票)	17	13	12	ア	48

表の中の **ア** に入る数を求めます。

表の中の数を使って、求める式を書きましょう。また、答えも書きましょう。

	正答率	無解答率
本校	93.6%	2.1%
全国	75.3%	2.1%

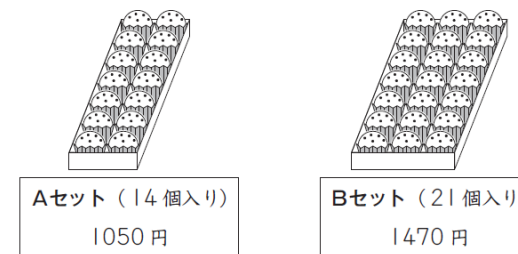
(考察)
 目的に応じて、必要な情報を読み取り、四則の混合した式について正しく理解し計算することができていました。
 今後もデータの活用に関しては、自分自身が課題を捉え、それに沿って必要な資料を積極的に集めたり、分類・整理していく態度や能力を育てていきます。情報活用能力は日常的な課題においても必要となってくるため、算数科のみならず、全ての教科において関連させながら指導していきます。
 また、四則の混合した式については、さまざまな問題場面で式に表したり、式から関係を読み取ったりする等、習熟を図っていきます。

【課題】

示された場面を解釈し、除法で求めることができる理由を記述することができる。

1

カップケーキが、下のように売られています。1箱14個入りで1050円のAセットと、1箱21個入りで1470円のBセットがあります。



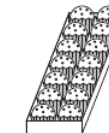
【くるみさんの考え】

Aセットのカップケーキ7個分の値段 $1050 \div 2 = 525$ 525円
 Bセットのカップケーキ7個分の値段 $1470 \div 3 = 490$ 490円
 カップケーキ7個分の値段は、Bセットのほうが安くなります。



Aセットのカップケーキ7個分の値段を、 $1050 \div 2$ で求めることができるのはどうしてですか。

ゆうとさんは、Aセットのカップケーキ7個分の値段を、【くるみさんの考え】の中の「 $1050 \div 2$ 」で求めることができるわけについて、下のように説明しました。



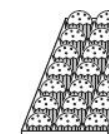
Aセット (14個入り) 1050円



【ゆうとさんの説明】

1列のカップケーキが7個ずつ2列あります。2列の値段が1050円なので、1050を2等分すれば1列に並んでいるカップケーキ7個分の値段を求めることができますからです。

Bセットのカップケーキ7個分の値段を、【くるみさんの考え】の中の「 $1470 \div 3$ 」で求めることができるわけについて考えます。そのわけを【ゆうとさんの説明】と同じように、言葉と数を使って書きましょう。



Bセット (21個入り) 1470円

	正答率	無解答率
本校	70.2%	6.4%
全国	76.0%	5.2%

(考察)
 問題場面の数量関係に着目して、除法が用いられる場面であると理解し、除法で求められる理由を言葉と数を用いて記述することに課題がみられました。
 今後は数と計算の学習においては、計算の仕方や計算の意味を考える際に既習の学習を活用し、根拠も持って立式し、答えを導き出すよう指導していきます。またその際には、自分の考えを言葉や図等を使って表現し、自分の考えを説明したり、わかりやすく伝え合ったりする学習を大切にしていきたいと思います。

<理科>

成果や課題があった設問

【成果】

メスシリンダーの正しい扱い方を身に付けているかどうかをみる。

2

たろうさんたちは、紅茶を冷やしたり、あまくしたりして飲むために、水と砂糖水を冷とう庫でこおらせることにしました。



水が先におおって、砂糖水は、こおるのに時間がかかったよ。砂糖水は、水よりこおる温度が低いかな。調べてみたいな。

砂糖水だけでなく、食塩水も調べてみたいね。



たろうさんたちは、【問題】を見つけたので、調べることにしました。

【問題】

砂糖水や食塩水がすべてこおる温度は、水がすべてこおる温度より低いだろうか。

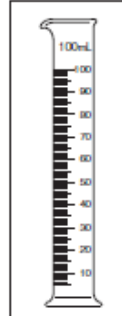


砂糖水や食塩水は、こおるのが水の部分だから、砂糖水も食塩水も水と同じ0℃で、すべてこおると思うよ。

実験してみよう。

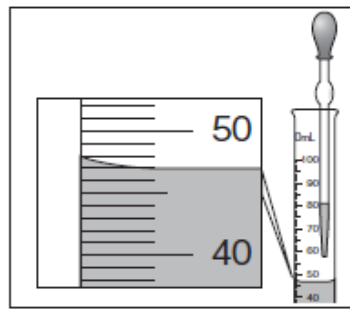


(1) たろうさんは、実験で使用する砂糖水と食塩水をつくるために、水50 mLを右のような器具を使ってはかりとることにしました。
たろうさんが使った器具の名前を書きましょう。



たろうさんが使った器具

(2) (1)の器具に、次の図のように、50の目盛りよりも下まで水を入れました。50 mLの水をはかりとるためには、このあとスポイトでどれだけの水を入れるとよいですか。下の1から4までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。



- 1 2 mL
- 2 3 mL
- 3 4 mL
- 4 6 mL

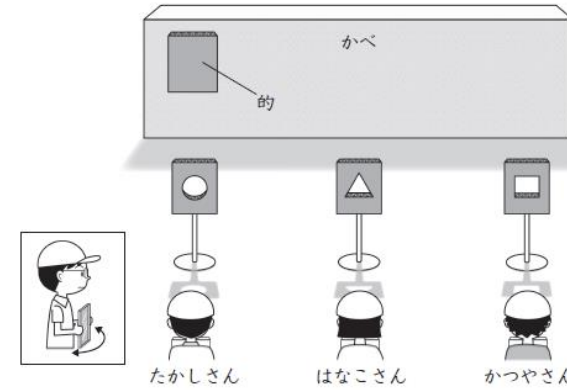
【課題】

問題に対するまとめを導きだすことができるように、実験の過程や得られた結果を適切に記録している。

3

たかしさんたちは、晴れた日に科学クラブで、同じ大きさの鏡を使い、日光をはね返して、的をあてゲームをしました。

(2) 実験をしながら、【結果】を記録しました。【問題】を解決するために最も適切な記録はどれですか。下の1から4までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。



上の図のように、3人とかべの間に、それぞれ、円形、三角形、四角形に切りぬいた、鏡と同じ大きさの段ボールの板を置きました。

たかしさんたちは、切りぬいた段ボールの板をとり除き、次のような【問題】を実験の【方法】を決めて、調べることにしました。

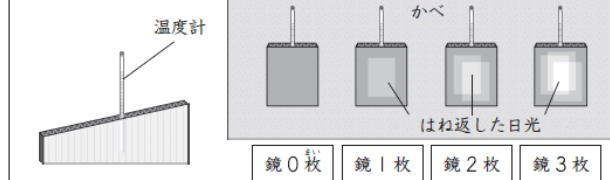
【問題】

鏡ではね返した日光を重ねるほど、的の温度は高くなるのか。

【予想】

はね返した日光を重ねるほど、明るくなるので、的の温度も高くなると思う。

【方法】



- ①段ボールの板のすき間に温度計をさしこんだのを、4つ作る。
- ②かべに①の的をはり、日光をあてる前の的の温度をはかる。
- ③鏡ではね返した日光を的にあて、3分後の的の温度をはかる。

1

【結果】 (はじめの的の温度 23℃)

- ・鏡3枚のときが、どれよりも明るく、的の温度が高かった。
- ・日光を重ねると、温度がどても上がったので、日光ってすごいと思った。

2

【結果】 (はじめの的の温度 23℃)

鏡の枚数	3分後の的の温度
0枚	23℃
1枚	32℃
2枚	40℃
3枚	51℃

3

【結果】 (はじめの的の温度 23℃)

時間	的の温度
1分後	35℃
2分後	46℃
3分後	51℃

4

【結果】 (はじめの的の温度 23℃)

鏡0枚
日光があたっていないので暗い
鏡1枚
明るい
鏡2枚
1枚のときよりも明るい
鏡3枚
この中で最も明るい

	正答率	無解答率
本校	83.0%	0%
全国	70.0%	0.6%

(考察)

目的に応じた実験器具や機器を選択し、器具や機器の使用法について理解することができていました。

今後は理科の学習においては、多くの実験器具や機器を扱い、観察・実験などに関する基本的な技能を身につけていく必要があります。安全に理科の学習をするために、どの器具や機器を使用するとよいかについて操作の手順を丁寧に確認し、一人一人が操作を体験する場面を設けていきます。

	正答率	無解答率
本校	66.0%	0%
全国	74.4%	1.3%

(考察)

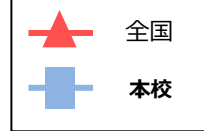
問題を的確に把握し、何を記録する必要があるかについて判断することに課題がみられました。

今後は観察・実験などの過程やそこから得られた結果を適切に記録するためには、問題を解決するのに必要な記録内容の検討や確認ができるようにする必要があります。そのため実験を行なう際には、問題を解決する際に、結果の見通しについて話し合い、必要な記録内容を明らかにする学習活動をしていきます。

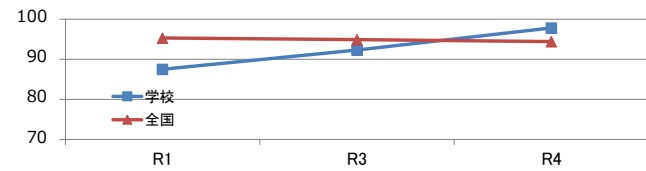
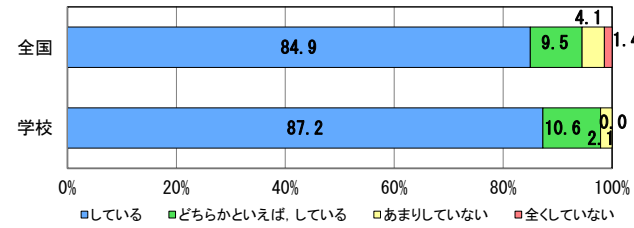
質問紙に関する調査

※帯グラフは、左から「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」「どちらかといえば当てはまらない」「当てはまらない」を示しています。
 ※折れ線グラフは、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の合計数値となっています。
 ※無回答があるため、帯グラフの合計数値は100にならない場合があります。

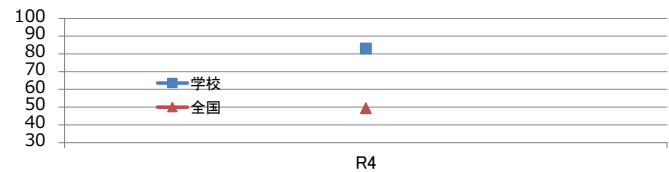
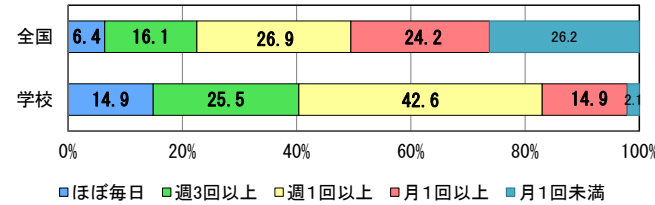
【成果のあった項目】



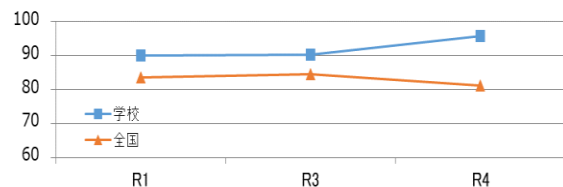
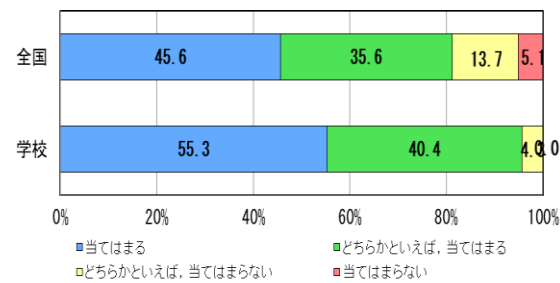
朝食を毎日食べている。



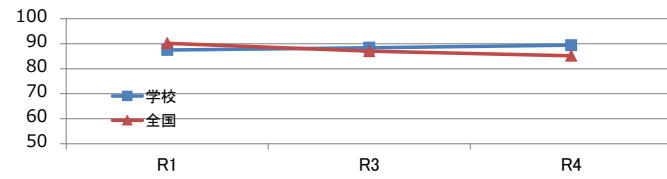
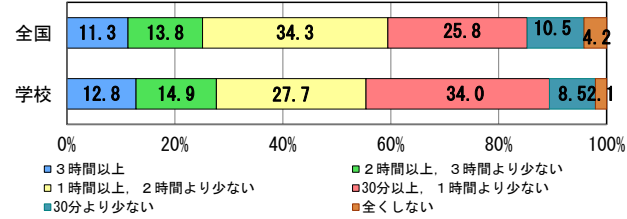
学級の友達と意見を交換する場面でタブレットなどのICT機器をどの程度つかっていますか。



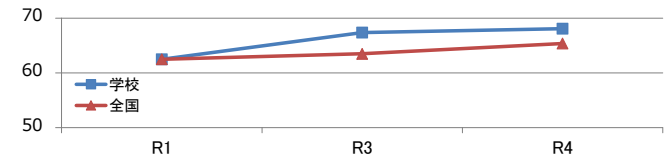
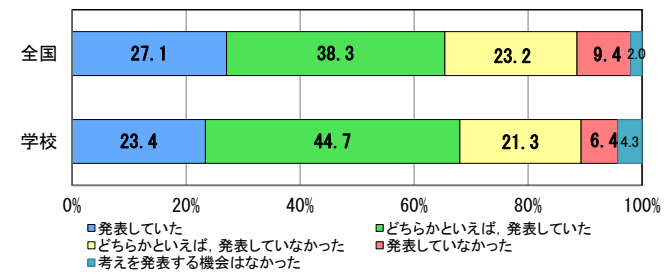
算数の授業の内容はよくわかる。



学校の授業時間以外に、普段(月～金)、1日当たりどれくらいの時間勉強をしますか。



授業で自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫している。



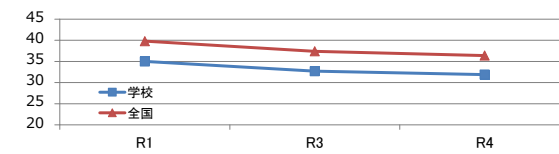
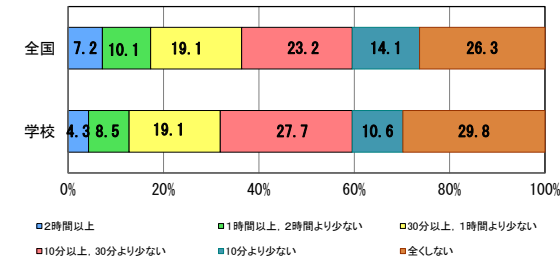
(考察)

今回の全国学力・学習状況調査の結果から、児童の基本的な生活習慣はしっかりと身につけていることがわかります。また、家庭学習の設問からも家庭学習が概ね定着していることがわかります。

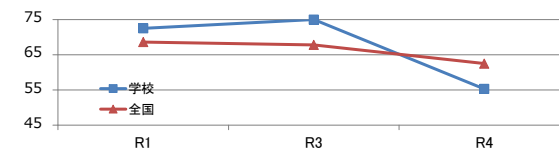
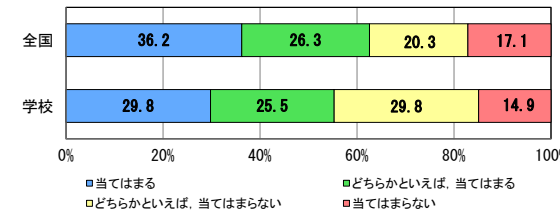
また、友達と交流する場面や自分の考えをまとめ、発表する場面でICTを活用できている児童が多いことは、「くず北ホームワーク」による取組や教員のICTを効果的に活用した授業改善の成果と考えられます。これからもデジタルとアナログを適切かつ効果的に活用し、学校と家庭をシームレスな学びにするとともに、「主体的・対話的で深い学び」を実践したより教育効果の高い取組を進めていきます。

【課題が残った項目】

授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらい読書をしていますか。



算数の勉強は好きだ。



分析結果を踏まえて今年度中に取り組んでいくこと

(1) 授業改善について

昨年度同様、Hirakata 授業スタンダードに基づき、ICTも効果的に活用した「主体的・対話的で深い学び」が実現できる授業改善の取組を進めていきます。それに加え、校内研究では「目的に向かって、みんなが話してよかったと思える話し合いをする姿をめざして」をテーマに、話し合い活動等を通じた協働学習や授業の振り返りを充実させた指導の取組を研究し、子どもたちがより深い学びをできるような授業改善を進めていきます。

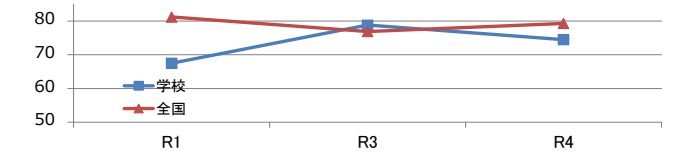
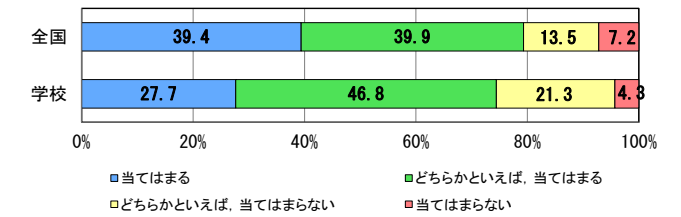
(2) 読書活動について

読書は、「考える力」「想像力」「表現力」等の国語力のみならず、全ての活動の基盤となる「教養・感性等」も身に付けられる重要なものであることから、読書活動推進のため「読書ノート」や「朝読書」「読み聞かせ」「並行読書」を活用し、児童の読書意欲を高める指導をしていきます。また、学校司書とも連携し、学校図書館の充実を図っていきます。

(2) 家庭学習について

毎週行なっている「くず北ホームワーク(自学自習)」の実施に効果が見られ、家で計画を立てて学習をする習慣が付き、児童の自主的な学習が進んでいます。今後も、ICTを効果的に活用し、学校と家庭とのシームレスな学びを進めていながら、より教育効果の高い授業を実践するための授業改善をしていきます。

自分にはよいところがある。



(考察)

今回の全国学力・学習状況調査の結果より、学力の定着や学習規律の確立に成果が見られる一方で、自己効用感や自己有用感、学習動機、読書時間について課題が見られました。今後は、体験的な活動やキャリア教育、実生活に結びつく課題の解決等を通して、自己効用感や自己有用感を高める取組を進めるとともに学習内容に対する好奇心や関心、内発的動機を高め、「主体的に学ぶ力」を育成していきます。

また、図書館教育を充実させるとともに「読書ノート」や「朝読書」「読み聞かせ」「並行読書」を積極的に活用し、読書の楽しさを子どもたちに体験させ、読書好きの子どもを増やし、知識や心を豊かにするだけでなく、すべての学びの基礎となる読解力を定着させていきます。

これらの取組に加えて、学校や家庭での学びが、実生活にどのように活かされるのかを振り返りや考察の中に取り込み、肯定的な未来志向を伸ばす取組を進めていきます。